

令和 3 年 2 月

教育行政執行方針

令和3年第1回登別市議会定例会にあたり、教育委員会所管の行政執行に関する基本方針を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、私たちにとって、生活様式や経済活動、子どもたちの教育環境などを改めて見つめ直す契機となりました。今もなお厳しい状況が続いていますが、今後、より多様で複雑化する課題と向き合いながら、全ての人が生涯にわたって主体的に学び続けることのできる環境づくりが一層重要となります。

こうした中で、教育においては、児童生徒1人1台のパソコン端末とネットワーク環境の整備を進めるGIGA

スクール構想を推進し、これらを有効に活用しながら、全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現することが求められております。

教育委員会としましては、これからの予測困難な時代を生きる子どもたちが、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成するとともに、市民誰もが主体的に学び続け、その成果を生かすことのできる、活力ある生涯学習社会の実現に努めてまいります。

以下、令和3年度の重点項目について申し上げます。

はじめに地域とともにある学校づく

りについてであります。

本市においては、コミュニティ・スクールと地域学校協働本部を一体的に推進し、学校と地域が連携・協働して、将来を担う子どもたちの育成に努めてまいりました。

今後においても、更なるコーディネータ機能の充実を図るとともに、学校を核とした多様な地域学校協働活動が展開されるよう努めてまいります。

次に学校教育についてであります。

小中一貫教育については、「登別市小中一貫教育基本方針」に基づき、9年間の円滑な接続を図ることで子どもたち一人一人の良さを大切にした指導を継続し、中1ギャップ問題の解消や

未然防止に努めてまいります。

幼保小連携については、昨年度まで北海道教育委員会の研究指定を受けて取り組んできたスタートカリキュラムの効果的な活用や教育課程の見直しを進めるなど、引き続き円滑な接続が図られるよう支援してまいります。

また、キャリア教育については、登別青嶺高等学校や登別明日中等教育学校、日本工学院北海道専門学校との連携・協働により、基礎的・汎用的能力を育む取組を推進するとともに、地域企業や事業所の協力を得た職場体験などを通して、地域に愛着を持ち、地域に貢献する人材の育成に努めてまいります。

確かな学力の向上については、課題

の見られる小学校算数科に焦点をあて、教育指導専門員が地域の方々の協力を得ながら、放課後の学習機会として「鬼っ子算数教室」を開催するとともに、家庭学習の充実が図られるよう、ICTを活用した教材を提供するなど、学習内容の定着と学習習慣の確立に努めてまいります。

また、学校図書館については、新たにモデル事業として中学校にも学校司書を配置し、読書活動の推進や授業における支援を通じた情報活用能力の育成などに努めてまいります。

英語教育については、引き続き小学校四年生全員の英検ジュニア受験や中学校生徒に対する英検3級検定料の半額補助を実施し、児童生徒の英語学習

に対する関心・意欲の向上や実用的な英語力の強化に努めてまいります。

また、外国語指導助手を活用し、異文化への理解とコミュニケーション能力の育成を図るため、小学校の早い段階から英語に触れる環境づくりを進めてまいります。

教職員の指導力の向上については、引き続き登別市教育実践研究奨励校や登別市教育研究会の活動を支援し、主体的・対話的で深い学びを目指す新学習指導要領が着実に実施されるよう促してまいります。また、「学校力向上に関する総合実践事業」を活用し、小学校高学年の教科担任制の研究や人材育成など、包括的な学校改善を図られるよう支援してまいります。

さらに、教職員が子どもたちと向き合う時間を確保するため、引き続き勤務時間の適切な把握や部活動指導員の配置を進めるとともに、給食費の徴収業務の軽減や校務支援システムの導入など、学校における働き方改革を推進してまいります。

I C T の活用については、「1人1台端末」を活用した授業を推進し、児童生徒の特性や学習進度等に応じて、きめ細かな支援ができるよう、登別市情報教育推進協議会と連携し、研究と実践を重ねてまいります。

また、授業改善と学びの充実の観点から、小学校算数科と中学校英語科において指導者用デジタル教科書を導入するとともに、国の「学習者用デジタ

ル教科書実証事業」を活用し、その教育効果を検証してまいります。

豊かな心の育成については、自然体験や社会体験、ボランティア活動など、各学校の実践を継続するとともに、「考え、議論する道徳」の授業を中心に、いのちを大切に作る心や思いやりの心、いじめを許さない心を育む道徳教育の取組を支援してまいります。

また、望ましい生活習慣の確立に向け、市内小学校6年生の約4割以上、中学校3年生の約7割以上がスマートフォンを所持している現状を踏まえ、登別市校長会・登別市PTA連合会とともに定めた「ケータイ・スマホ3つのルール」の周知徹底を図るとともに、児童生徒がメディアとの接し方を主体

的に考える取組を促してまいります。

いじめ・不登校対策については、「登別市いじめ防止基本方針」に基づき、学校・家庭・地域・関係機関と連携し、いじめの未然防止と早期発見・早期対応に努めてまいります。とりわけ、昨年度開設したメール相談について、より一層活用されるよう、相談方法の周知・徹底に努めてまいります。

また、教職員研修資料「SOSの出し方に関する教育」を活用し、子どもたちが不安や悩みを抱えたとき、誰にどのように助けを求めればよいか、具体的で実践的な方法を学ぶことができるよう、学校の取組を支援してまいります。

安全対策については、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、文部科学省が示す「学校の新しい生活様式」を踏まえ、学習や活動の内容を工夫しながら、可能な限り、授業や部活動、各種行事等の教育活動が継続されるよう支援してまいります。

体力の向上については、コロナ禍のため少年団活動や部活動が制限されておりますので、スポーツ指導員の派遣や体育科授業の工夫・改善を通して、児童生徒の健康・体力づくりの取組を促してまいります。

学校の適正配置については、「登別市学校適正配置基本方針」で示した計画期間の前期が終了しましたので、適

正規模が課題となっている学校区においては、各地区の学校運営協議会や意見交換会で挙げられた多様な意見を踏まえ、「地区別検討委員会」を設置し、学校の統廃合に向けた取組を推進してまいります。

特別支援教育については、引き続き各学校の特別支援教育コーディネーターを中心に、義務教育9年間の連続性に配慮した支援に努めるとともに、のぞみ園や幼稚園・保育所、関係機関等と連携して、幼少期からのきめ細かい支援や就学相談の充実に努めてまいります。

次に、社会教育についてであります
が、市民一人一人が主体的に学び、人

と人とのつながりを深め、心豊かに暮らすことができる環境づくりが重要であります。そのため、今年度からスタートする「第六次社会教育中期計画」に基づき、多様な主体の協働とICTの活用を図りながら、各種事業や施策に取り組んでまいります。

ふるさと学習については、郷土資料館の展示や郷土の歴史・文化を学ぶ機会の充実など、本市を形づくる歴史遺産の保存や活用を通して、市民意識の醸成と郷土に対する愛着が深まるよう取り組んでまいります。

また、アイヌ語の地名などを紹介するため、新たに登別地区において看板等を整備するほか、引き続き公共施設等へアイヌ文様のタペストリーの設置

を図るなど、アイヌ文化の振興並びに伝統の普及・啓発に努めてまいります。

さらに、登別市が輩出した『アイヌ神謡集』の作者である知里幸恵をはじめとするアイヌ文化の伝承者の功績について、広く情報発信に努めてまいります。

家庭教育については、引き続き「家庭教育学級」において、子育ての知識や望ましい生活習慣などを学ぶ学習会を開催し、子育てに関する情報提供や保護者同士が自身の体験や知識を積極的に交換できる場を設けるなど、内容の充実に努めてまいります。

青少年の健全育成については、子どもの非行防止と通学路等における安

全確保のため、学校・家庭・地域・関係機関との連携・協力のもと、青少年センターを中心に、引き続き登下校時の見守り活動や街頭指導、巡回指導などに努めてまいります。

また、近年増加傾向にある不審者情報を地域と共有し、多くの目で子どもを見守るため、「子ども110番スタディちゃんの家」の設置場所や防犯訓練等の在り方を検討してまいります。

文化・スポーツの振興については、登別市文化・スポーツ振興財団や関係団体と連携して、市民が芸術・文化に触れる機会の充実や各種文化活動の支援とともに、スポーツ活動の促進による健康・体力づくりに努めてまいります。

また、「S O M P O ボールゲームフェスタ2021」や「東京2020オリパラで夢を育むスポーツ推進事業」に取り組み、子どもたちに体を動かす喜びの体験やスポーツの魅力を伝えてまいります。

さらに、休日の学校部活動を段階的に地域へ移行する国の方針が示されましたので、子どもたちにとって望ましいスポーツ環境の整備に向け、地域スポーツの在り方について検討してまいります。

学校給食については、引き続き衛生管理の徹底を図り、安全で安心な給食を提供するとともに、郷土を実感できる食材を取り入れ、ふるさとへの愛着心の醸成や地域の産業への理解が深ま

るよう努めてまいります。

図書館については、引き続きアイヌ文献の収集に取り組むとともに、市民活動サポーターとの協働による郷土資料のデジタル化を進めてまいります。

また、電子図書館については「図書館通信」による電子資料の紹介や操作方法の講習会を実施し、利用の促進に努めてまいります。

以上、令和三年度の重点項目について申し上げます。

教育委員会としましては、「登別市教育振興基本計画」で掲げる豊かな心を持ち、たくましく生きる人間の育成を目指し、学校、家庭、地域の新しい

絆づくりを支援するとともに、総合教育会議を通して市長との連携をより深めながら、誰一人取り残さない活力ある豊かな社会の実現に向け、教育行政を推進してまいります。

市民の皆さん並びに議会議員の皆さんのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。